

W-4-1

ブヌン語とその周辺言語の語彙的接頭辞

野島本泰（大阪大学非常勤講師）

第1節でブヌン語の語彙的接頭辞の実態を詳細に検討し、ブヌン語の周辺の言語として第2節でサアロア語、第3節でシラヤ語の語彙的接頭辞の状況を概観する。最後に、第4節で結論を述べる。

1. ブヌン語の語彙的接頭辞

ブヌン語は台湾中南部で話され、話者は約5万人。北部方言群、中部方言群、南部方言に分かれる（本発表では発表者が1991年から調査している南部方言の資料を使う）。音韻：母音 a, i, u。子音 p, t, k, ' [ʔ], b, d, m, n, ng [ŋ], v, z [ð], s, l [l̥~l], h, y [j], w[u]。s, t は i の直前で口蓋化（/ti/ は ci と表記する）。文法：LPが発達。節連結では、動作の継起、動作とその様態などを表す。

LPの例を挙げる。まず、LPの k-「食べる」と、さまざまな語基の結合の例。

- (1) a. **ik-**'amin-un 「全部(√'amin)食べる」 b. **ik-**'amu 「いっしょに(√'amu)食べる」
c. **ku-**t'ah-un 「生で(√t'ah)食べる」 d. **ku-**skun 「いっしょに(√skun)食べる」
e. **ik-**'abuh 「食べて満腹(√'abuh)になる」 f. **ik-**'anak-un 「自分で(√'anak)食べる」

LPの is-「焼ける」と、さまざまな語基の結合の例。

- (2) a. **mis-**taba 「焼ける」 b. **mis-**danghas 「焼けて赤くなる」(ma-danghas 「赤い」)
c. **mis-**busuk 「酔う、酔っている」 d. **mis-**muđu 「火に当たる（暖を取る）」
e. **mis-**piaha 「焼けてびっこになる」(ma-piaha 「足を引きずって歩く」)

さまざまな LP と語基 amin 「みんな」の結合

- (3) a. **ik-**'amin-un maun 「みんな食べる」 b. **saun-**'amin-an 「みんな飲む」
c. **mis-**'amin **mis-**taba 「みんな焼ける」 d. **sa-**'amin sadu 「みんな見る」
e. **pit-**'aminun mapataz 「みんな死なす」 f. **pat-**'amin-an mapatas 「みんな書く」

さまざまな LP と語基 hna 「再び」との結合の例

- (4) a. **ku-**hna maun 「再び食べる」 b. **sa-**hna sadu 「再び見る」
c. **sau-**hnaan 「再び与える」 d. **pat-**uhna mapatas 「再び書く」
e. **m-**u-hna musuhis 「再び戻る」 f. **m-**u-hna m-u-bahbah 「再び涙(bahbah)を流す」

1.1. LPの意味と形

ブヌン語 LP の以下の特徴が挙げられる。

(a)接辞は1音節か、2音節。現れる子音には制限があり b, d, z は現れない。

(b)ブヌン語の LP は多様な事象が表せる。普通は自立動詞で表すような具体的な事象が表せる。「なる（別の物に／別の状態になる）、食べる、飲む、作る、とる（獲得／除去）、言う、与える、行く、投げる、臭う、身体部位を洗う、着る、穿く、見る、聞く、書く、泣く、笑う、寝る、夢を見る、好き、縛る、削る、なる、など。

(c) 状態を表す LP は少ない。アミ語には *ci-*「ある, 持っている」という LP があるが, ブヌン語にはそういう意味の LP はない (自立動詞を使うしかない)。また「～が上手」という意味の接辞もない。ただし次の LP はある: *i-dadaza* 「上(dadaza)にある」, *tapu-davus* 「酒(davus)好き」, *masu-huaz* 「籐(huaz)の多い場所」, *tu-'isah* 「小便('isah)の臭いがする」, *maka-cina* 「母(cina)似 (母を經由して)」。

(d) モノを表す LP は一切ない。「モース諸語」の一つ, ティラムーク語には「歯」を意味する接辞があるというが (宮岡 1992), 台湾南島諸語では身体部位は自立名詞で表す。接辞ではない。台湾で報告があるのは「歯」ではなく「噛む」を表す接辞, 「足」ではなく「足でする動作」を表す接辞である。

1.2. LP と語基の意味関係

次に, ブヌン語の LP と語基の間に成り立つ意味関係を見ていく。

表 1 ブヌン語では, LP と語基の間にはどのような意味関係が成立しうるか

	対象	回数	多/少	数量	範囲	レ貼	様態	描写	結果	可能	空語根	願望	場所
ブヌ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+

(a) 行為と回数: *tu-pusan* 「2回(√*pusan*)言う」; (b) 行為とその参加者の描写: *ku-t'ah* 「生で(√*t'ah*)食べる」; (c) 行為とその様態: *tu-shit* 「大声で(√*shit*)叫ぶ(*tu-*)」; (d) 行為とその結果: *kali-tunghaz* 「殴り(*kali-*)倒す」 (Osumi and Tsuji 2009 がニューカレドニアの言語の記述で指摘している “event-classifying” の機能を果たしている); (e) 行為とその場所: *ku-dadaza* 「上(√*dadaza*)に行く」 *ma-kau-na-dadaza* 「上に(√*dadaza*)投げる」); (f) 行為と, それが可能なこと。 *cis-uknu* 「背負う(*cis-*)ことができる(√*knu*)」; (g) 人や物の属性 *tapu-davus* 「酒(davus)好き」。

このうち, 回数, 数量, 範囲, 描写, 様態, 結果では PH もよく生じる (第 1.6 節を参照)。

1.3. 生産性

生産性の高低は個々の LP によってまちまちだが, 次の点で高い生産性を示す LP が数多くある。

(a) 語基との意味関係, 語基の種類が多岐にわたる。LP によっては疑問詞根などと自由に結合する。例: *tu-pusan* 「2回(√*pusan*)言う」, *tu-daing* 「大きい(√*daing*)声で言う」, *tu-kua* 「どう(√*kua*)言う?」。

(b) 外来語基との結合。例: *pis-mali* 「バレーボール (毬 *mali* で遊ぶ)」。

(c) LP と語基が即興的に組み合わせる。 *mis-piaha* 「焼けて(*mis-*), その結果びっこ(√*piaha*)になる」は, 母語話者でもぱっと見では容認できないとを感じるが, 文脈を与えられれば可能な語だと判断できるという。

1.4. 意味的に対応する語根との, 形式上の類似

LP の「書く」は *pat-*で, 意味的に対応する語根 √*patas* 「書く」の一部である。LP の「刺す」は *kis-*で, 語根 √*laupa* 「刺す」とは共通部分が一切ない。類似がある例, ない例を 2 つずつ加える。

(5) 類似がある例: *salin-*「削る」と √*salat* 「削る」 *kit-*「噛む」と, √*kalat* 「噛む」

(6) 類似がない例: *kalin-*「吹く」と √*'iip* 「叩く」 *cis-*「背負う」と √*ama* 「背負う」

1.5. 接頭辞調和はあるか?

PH (または prefix concord) は言語間で差があり取り扱いは難しいが, PH を以下のものとして先に進む:

1. 動詞が 2 つ連続する。

2. その場合に、第1動詞にLPが含まれることがあり、そのLPの意味を補充、補填するのに第2動詞が現れる。そのとき第2動詞を別のものに変えると、それに伴い第1動詞のLPが変わる。(共変)

3. 共変において第1動詞のLPが決まる原理には2つの極がある。

(あ) すべて**意味**で決まる。(第2動詞の意味に応じて、第1動詞のLPが決まる)

(い) すべて**形**で決まる。(第2動詞の形に応じて、第1動詞のLPが決まる)

4. その共変が組織的に見られる。

ブヌン語にはPHが頻繁に見られる。よく紹介される例として次の2つを挙げておく。

(7) **mis-pataz** **mis-busuk / mis-taba / *minsunab**
[主体形]焼ける-殺す/死ぬ [主体形]焼ける-酔う/[主体形]焼ける-[無意味] / *[主体形]家や森林の火事
「ひどく酔う / ひどく焼ける / *家や森林がひどい火事」

(8) **kis-sasu-an=s** **mabananaz** =cia **kis-laupa**
刺す-即座に-[場所]=[3格] 男 =その[非1格] 刺す-刺す
「男は(奥さんを)即座に刺した」

2. サアロア語の語彙的接頭辞

高雄市桃源区。話者は10人から15人(Pan 2012)。母音 a, i, u, e [ə]。子音 p, t, c, k, ' [ʔ], s, l [[ʎ], v [β], m, n, ng [ŋ], L [r], r。サアロア語の資料は主に Pan (2012, 2018)および Pan [潘家榮]からの私信。

2.1. LPの意味と形

サアロア語のLPの意味は多様である。動作を表すものが多い。

さまざまなLPと語基 *elese* 'together' の結合の例

(9) a. **ke-*elese*** (**eat**-together) b. **taku-*elese*** (**work**-together)
c. **ki-a-*elese*** (**dig**-IRR-together) d. m-**u-a-*elese*** (AV-**motion:on:foot**-IRR-together) '**come** down'

LP *ku*- 'to eat' とさまざまな語基の結合の例

(10) a. **ku-tumulhu** (**eat**-√ a.lot) b. **ku-ngalhangalha** (**eat**-√ again)
c. **ke-lepenge** (**eat**-√ finish) '**eat** up' d. **ku-mata'e** (**eat**-√ raw)

サアロア語のLPは動作を表すものがほとんどで、「酒好き」「お金持ち」などのレッテル貼り接辞(人や物の属性を表すのに使う接辞)は見つかっていないようだ。

サアロア語のLPをどう数えるかは難しい。Tsuchida (1985)はLPを155個、Li (2009)は54個挙げている。この違いは多義をどう扱うかの差による。例えばLPの *ara-* を土田は8つの見出しに分けるが、Li (2010)は 'become' とただ1つにまとめる。

ブヌン語同様、1音節・2音節のものが多いが、3音節のものもある。

2.2. LPと語基の意味関係

上記の例のように、多少、数量、回数、様態、描写、結果など多様。生産的なLPが多数ある。

表2 サアロア語では、LPと語基の間にはどのような意味関係が成立しうるか

	対象	回数	多/少	数量	範囲	レ貼	様態	描写	結果	可能	空語根	願望	場所
サア	+	+	+	+	+	??	+	+	+	??	??	??	+

2.3. 生産性

高い生産性を示す LP が数多く見つかった。

2.4. 意味的に対応する語根との、形式上の類似

例(11)の ki-「掘る」は√ kali「掘る」と第1子音が同じ、maa-「飲む」と√ ima「飲む」も同様。だが、意味的に対応する語根と形がまったく異なるものもある。また、意味的に対応する語根がそもそも見当たらない LP もある。

2.5. 接頭辞調和はあるか？

頻繁にある。

- (11) **ki-a-else**=ita **ki-mua-muare** **ki-mairange** maataata.
 掘る-IRR-一緒に=私達 掘る-[重複]-ゆっくり 掘る-薩摩芋 明日
 ‘We will slowly dig sweet potatoes together tomorrow.’

- (12) **sa-mahlu~mahlungu** **sa-tama~tamaku**. (原住民族語言線上辞典：一部、Pan の指摘に従い改変)
 LP(臭いがする)-[重複]-クリア LP(臭いがする)-[重複]-タバコ
 「(祖父が晒場で煙葉を干しており、その) 香りがとてもいい。」

3. シラヤ語の語彙的接頭辞

シラヤ語は台南、屏東付近で話されていた、平埔族諸語の一つ。宣教師によるマタイ伝などの資料が残る。ここでの資料は Adelaar (1997, 2004), Tsuchida (2000)からの引用。PH に関しては活発な議論がある。

3.1. LP の意味と形

Tsuchida (2000)は、シラヤ語の LP を 38 個、Adelaar (2004)は 34 個リストに挙げている。

さまざまな LP と、語基 lpough ‘can, be able’ の結合の例

- (13) a. **mattœ’i**-lpough [...] **mattœ’i**-vlli ‘was able to answer’
 LP(speak)-can:AF.NEUT **speak**-back:AF.NEUT
 b. ni-**s**<m>**aki**-lpough **s**<m>**aki**-pœpœneh ‘could cast out’
 perf.-**LP(cast)**<AF>-√able **LP(cast)**<AF>-out

LP mattœ’i- ‘speak, say, talk’ と、さまざまな語基の結合の例

- (14) a. **mattœ’i**-k’ma-hynna ‘say like this’
 b. **mattœ’i**-la ‘speak again’

ブヌン語、サアロア語同様、動作を表すものが多い。資料の性質上、発話に関する LP が目立つが、「食べる」「飲む」「縛る」などの動作も LP で表される。1 音節か 2 音節。LP には現れない子音もある。

3.2. LP と語基の意味関係

LP と語基の意味関係は多様である。

表 3 シラヤ語では、LP と語基の間にはどのような意味関係が成立しうるか

	対象	回数	多/少	数量	範囲	レ貼	様態	描写	結果	可能	空語根	願望	場所
シラ	+	+	+		+		+	+		+	-	+	+

- (a) 行為とその対象：(例) **hali**-rima-ei ‘**Bind** him hand (= rima “hands”)’
 (b) 行為とその回数：(例) **sauh**-pyttou-appa kytti-cen **sauh**-pyttoul ‘(**swear**) seventy-seven times’
 (c) 行為とその数量・範囲：(例) ni-**k**-ymmīd ‘**ate** all’
 (d) 行為とその様態 (例) ni-**k**-lam ‘**ate** together’
 (e) 行為とその結果 (例) **paha**-papa’ul-auh ‘will **be transformed into** bread (pa’ul)’ (**paha**- 「…に変身する」)
 (f) 行為とその場所：(例) **mou**-vavau ‘**go up**’ (**mou**- ‘locomotion’)
 (g) 行為と、可能 (例) **mou**-ipough-ah **mou**-rbo ‘will be able to enter’
 (h) 行為とその目的。「…しに来る」。例えば, **k**-koua-ah [LP(eat)-√ come:AF.FUT] ‘Come to **eat!**’。

《目的-√動作(移動)》の組合せは台湾南島諸語ではシラヤ語のみか。

- (i) 「酒好き」「お金持ち」などのレッテル貼り接辞(人や物の属性を表すのに使う接辞)は、ない。

3.3. 生産性の高さ

接辞の数はブヌン語、サアロア語ほど多くないが、多くが多様な語基と結合する。活性は高いといえる。

3.4. 意味的に対応する語根との、形式上の類似

Tsuchida (2000)は、LPのk-「食べる」は動詞kman「食べる」(<南島祖語 *kaʔen)の第1子音だろうと推測している。一方、Adelaar (2004)は、次の2つが語根と関係があると述べている。

- (15) LP **pää**- ‘giving or passing on’ 語根 **phä** ‘give’
 LP **h**(<m>)**u**- ‘drinking’ 語根 **häux** ‘cup’。

pää- と √ **phä** ‘give’ については Tsuchida (2000)はサアロア語の対する形式や、さらには南島祖語 *beRey との関連にも触れている。

3.5. PH

ある。頻繁に見られる。例(13)[plough]を参照。また例(16)から(18)も参照。

- (16) ni-**k**-imäd k<m>an ‘ate all’
 perf.-**LP(eat)**-all LP(eat)<AF>
 (17) ni-**k**-da k<m>an ‘remained in eating’
 perf.-**LP(eat)**-remain LP(eat)<AF>
 (18) ni-**k**-lam m-irung
 AF.PERF-**LP(eat)**-with AF.NEUT-sit

「(夕方になると、イエスは十二人)と一緒に食事の席に着かれた。」(日本聖書協会『聖書新共同訳』マタイの福音書 26章 18節)

ただし、Adelaar (2004)は例(16), (17)のk-をLPとは見ない。後続の動詞k<m>anの一部分がくっついたにすぎず、その部分自体は意味を持たない。意味を持たないのだから形態素ではない、つまり接頭辞ではない、こう考える。そして、後方にある動詞の一部分が前方にある動詞にくっつくこと、それを‘anticipating sequence’(=AS)と呼んだ。

同様に、Adelaarは例(19)の**kmi**もまたASとみなす。LPを積極的に認めるTsuchidaでさえこのkmi-はLPのリストに含めず、「pseudo-prefixesの発生が見える」と述べている。

(19) k<m>i-dung k<m>ita 「隠れたところを見る」

AS-こっそり <AF>見る

「マタイ 6:17 あなたは、断食するとき、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。18 あなたの断食を人に見られることなく、隠れた所におられるあなたの父に見ていただくためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

4. 結論

ここでは、ブヌン、サアロア、シラヤ語の LP について次のことを確認した。

- A. LP それぞれの接辞の意味は明確なものが多い。形は多様。企画趣旨の表 1 の通りになった。
- B. 接辞と語基の意味関係は広い。ブヌン語とサアロア語では「動作+様態」「動作+量」「動作+結果」が見られる。「動作+対象」も一部見られる。シラヤ語では「動作+可能」, 「目的+移動」がある。企画趣旨の表 2 の結果が得られた。
- C. 生産的である。ブヌン語, サアロア語は 100 を超える。シラヤ語も資料が限られているが, 多い。
- D. LP と語基とで形が似ている例が 3 言語いずれも見つかる。しかし, この 3 言語から再構できるものは k- 「食べる」くらいか。
- E. PH は, 3 言語とも頻繁に起きる。どれも第 2 動詞の**意味**が第 1 動詞の LP を決めることが多いが, シラヤ語では AS が観察される。シラヤ語は, AS が目立つ点でブヌン語, サアロア語とは異なる。

参考文献

- Adelaar, K. Alexander. (1997) Grammar notes on Siraya, an extinct Formosan language. *Oceanic Linguistics* 36: 362-397. Adelaar, K. Alexander. (2004) The coming and going of 'lexical prefixes' in Siraya. *Language and Linguistics* 5(2): 333-361 / Li, Chao-Lin. (2009) The syntax of prefix concord in Saaroa: Restructuring and multiple agreement. *Oceanic Linguistics* 48 (1): 172-212. / 宮岡伯人 (1992) 「環北太平洋の言語」宮岡伯人 [編] 『北の言語：類型と歴史』 3-65 頁, 三省堂. / Nojima, Motoyasu (1996) Lexical prefixes of Bunun verbs. *Gengo Kenkyu* 110: 1-27. / Osumi, Midori and Emiko Tsuji (2009) Morpho-semantic features of Tinrin and Neku verbs and event-classifying verbal prefixes. *Tokyo University Linguistic Papers, The University of Tokyo* 28:173-195. / Pan, Chia-jung. (2012) A grammar of Lha'alua: an Austronesian language of Taiwan. PhD dissertation. James Cook University. / 潘家榮. (2018) 『拉阿魯哇語語法概論』 新北市：原住民族委員會. / Tsuchida, Shigeru. (1985) "Classificatory prefixes" in the Tsouic languages (Formosa). Handout for seminar, Dept. of Ling., The Research School of Pacific and Asian Studies. Tsuchida, Shigeru. (1990) Classificatory prefixes of Tsou verbs. *Tokyo University Linguistic Papers* '89: 17-52. / Tsuchida, Shigeru. (2000) Lexical prefixes and prefix harmony in Siraya. *Grammatical analysis: Morphology, syntax, and semantics*, ed. by Videia P. De Guzman and Byron Bender, 109-28. Honolulu: University of Hawai'i Press. / 原住民族委員會「原住民族語言線上辭典」<https://e-dictionary.ilrdf.org.tw/index.htm> (2023 年 5 月 10 日閲覧).